

震災乗り越え、川へ

中野小学校（多田克己校長、児童128人）の2年生と6年生43人が4月18日、有家川にサケの稚魚約300匹を放流しました。稚魚は、3月に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた有家川さけ・ますふ化場から学校へ約5000匹ほど提供されていましたが、震災による停電で水槽の空気ポンプが停止し、約300匹まで減少しました。児童たちは、震災を乗り越えた数少ない稚魚に「元気で帰ってきてね」と声を掛け、丁寧に川に放流しました。





3月28～31日までの4日間、種市高の生徒や教職員など延べ160人が県栽培漁業協会種市事業所の復旧作業を行いました。同校は、県栽培漁業協会と協力して潜水技術を生かした放流実習を行っており、ことし1月にはナマコ種苗を放流しています。生徒たちは、お世話になっている同事業所の早期復旧を願い、散乱した資材の片付け作業をしました。

【特集】

希望の光

東日本大震災の発生から約1カ月半が経ちました。国内最大級となるマグニチュード9.0を記録した東北地方太平洋沖地震が引き起こした大津波は、町に甚大な被害を残しました。今回は、現在分かっている津波の大きさや町の被害状況、そして、復旧活動から見えた希望の光を紹介します。(特集7ページまで)

広報

ひろの

2011.5月号

平成23年5月1日 No.65

今月の目次
contents

- 03-07
【特集】
希望の光
- 08-09
よろしく申し上げます
この春から町内の小中学校に赴任された校長先生を紹介します。併せて、農業委員、行政相談員、各地区の行政推進員を紹介します
- 10-11
国保税の引き上げについて
- 12-13
皆さんの声が届いています
ふれあい町長室に5年間で362人から572件の意見・提言
- 14-15
狂犬病の予防注射を行います
町まちづくり推進委員会委員を募集
2・ち・ら 保健センター
- 16-17
**大野中と種市小が
新たな歴史への第一歩**
- 18-19 まちの話
- 20-21 生涯学習かわらばん
- 22-23 みんなの広場
- 24-27 暮らしに役立つ情報ファイル
- 28 四季彩ひろの

GW ゴールデン・ウィーク
も洋野町が楽しい!

5月
3日～5日
(火) (木)

@おおのキャンパス



「おおのキャンパス一人一芸交流祭」
◎主な催し…みんなで歩こう2011春、もちまき大会、芸能交流祭、ちびっこわんぱく広場、3on3バスケットボール大会、演歌・舞踊ショー(吉川ちあき、北原良、早乙女清次郎一行)、第10回竹とんぼ大会、道の駅おおの回廊市、工芸体験教室、動物ふれあいコーナー、おおのキャンパスフリーマーケット、耕作と工作体験(アイスクリーム作り体験・試食、そば打ち体験・試食)など
※ひろのまきば天文台オープン1周年記念行事も同時開催!
◎問い合わせ…役場地域振興課 ☎77-2111



5月
3日～5日
(火) (木)

@アグリパークおおさわ

「アグリパークおおさわ春の感謝まつり」
◎主な催し…フリーマーケット、春風大鍋無料ふるまい、川魚つかみどり(参加無料)、もちつき、わら細工体験、全日本わらざーリング大会、景品付きもちまき大会、大沢婦人会演芸ショー、ふれあい動物園、遊覧馬車運行、貸しボート、釣り堀、星座鑑賞会など
※期間中は、エアートランポリン、パークゴルフの利用、小学生以下の入浴が無料!
◎問い合わせ…アグリパークおおさわ ☎66-2662

東日本大震災と命名

3月11日に本町で震度4を観測した東北地方太平洋沖地震によって発生した大津波。その被害は、地震や津波の直接被害はもちろん、停電や流通混乱による被害など、さまざまな分野に波及しました。政府は4月1日、今回の災害を「東日本大震災」と命名しました。

津波は最大で15㍎

町の東日本大震災による被害は、人的被害こそなかったものの漁業関係を中心に甚大な被害となり、そのほとんどが津波の直接被害でした。県が行った津波の痕跡から

数値を出す調査によると、津波は本町に最大で15㍎もの高さまで押し寄せていたというデータ（速報値。今後、標高補正などを行い精査するため、数値は変動する予定）が出ています（下図）。この数字はあくまで痕跡データから出した数字なので実際に計測した高さとは異なりますが、

調査結果を見ると、町内で最大の15㍎を記録したのは中野地区でした。町内全体の最大値を見ると、中野地区に続いて有家地区が14・2㍎、小

内地区が13・4㍎となっており、町の南側に行くにつれて、津波が大きいという傾向にあります。

訓練で迅速な行動

町内の漁港周辺を中心に、甚大な被害をもたらした今回の津波。住家被害も出ていた中で人的被害がなかったことは、まさに不幸中の幸いでした。

町消防団の明戸実団長は「今回のような大きな津波でも人的被害が出なかったのは、消防関係者や自主防災組織、地域の皆さんが、日ごろから防災訓練に取り組んでい



町消防団 団長
明戸実 さん

たからこそ。地震発生から町内の全水門を閉鎖するまでに30分もかからなかったし、住家被害の多かった八木地区でも、早く避難するという意識が住民の中にしっかりとあり、皆さんがそれぞれ迅速に行動してくれた」と地震発生当時の行動を振り返ります。一方で、「今回のような大きな津波がもし真夜中に発生していたら、避難や水門の閉鎖をするのにもっと時間が掛かっていたかもしれない。今回の経験をこれからの訓練に取り入れていきたい」と、気を引き締めました。

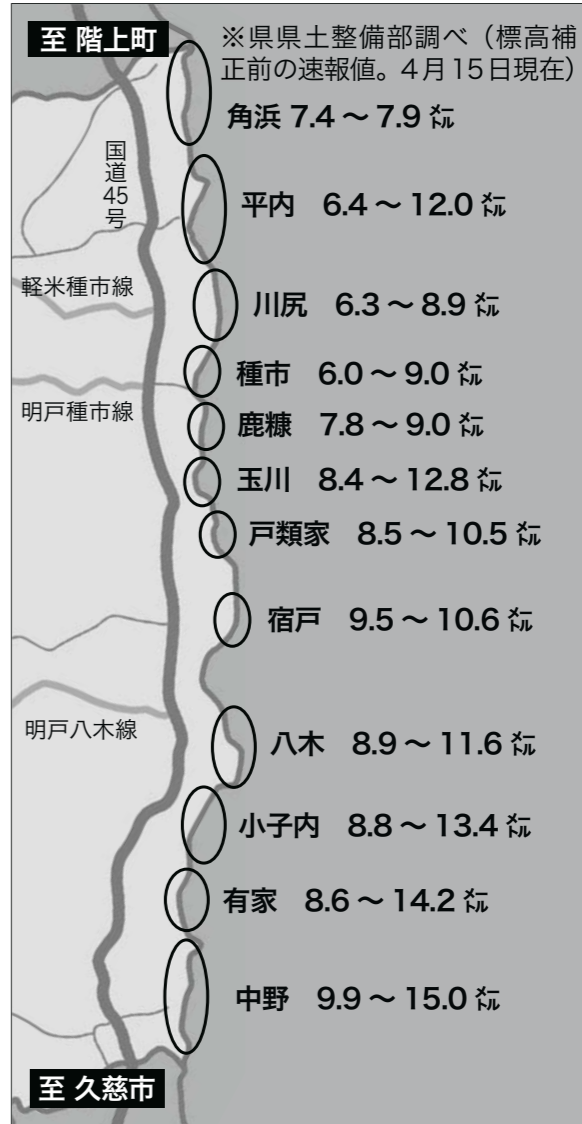


引き波で漁船やトラックも流された（3月11日午後4時04分）



種市漁港に押し寄せた津波（3月11日午後4時28分）

図) 津波の高さ



被害額は32億円超

町防災推進室のまとめによると、今回の震災による被害額は、4月11日現在で32億円を超えています。被害の大部分は直接被害で、漁港・漁協関係が件数、額ともに一番多く、漁船、防波堤、施設関係など346件で2億3932万円となっています（左表）。続いて、住家・非住家・町の施設などを合わせた建物被害が138件、2億8951万円となっています。

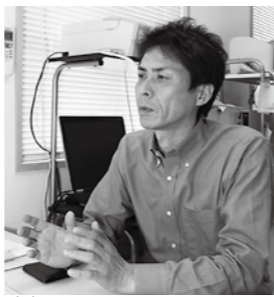


区で建物の設備やガラスの破損などの被害が出ています。

二次被害も続出

地震と津波は、長期の停電と流通混乱を引き起こし、二次災害も続出しました。全国的には食料やガソリンの買い占めなどが目立ちましたが、町内では、鶏卵生産量減、生乳120ト廃棄、鶏57万4172羽死亡などが報告されています。酪農では、生乳の廃棄と飼料不足という二重の苦勞を強いられました（下表）。

町内の酪農家と取引をしている(有)おのミルク工房の浅水巧美係長は「徐々に落ち着いてきてはいるようですが、飼料が手に入らないとか、生乳をずいぶん廃棄したという



(有)おのミルク工房 係長
浅水巧美 さん

話は聞かえてきました。大手の乳業メーカーでも復旧が長引いたところも多かった中で、取引の多い農家はだいたい先が営業しているかどうかで被害の額は大きく違うと思います。もし、補償ということになったら、その辺の不公平がないようにしてほしいですね」と、酪農家の切実な思いを訴えました。

復旧へ向け急ピッチ

町内では現在、急速に復旧作業が進められています。

住家の被害にあった人たちは旧町営住宅などに入り、被害の大きかった町内の各漁港でも、関係者を中心に毎日のように作業が行われています。町の人たちは前を向き、一歩ずつ歩き出しています。



町内のガソリンスタンドにも長蛇の列が（3月12日、午後2時32分）

表) 町の主な被害状況 (抜粋) (町防災推進室調べ。平成23年4月11日現在)

区分	状 況	額(万円)
人	死者0人、負傷者0人、行方不明者0人、避難者417人（最大時）※避難所は3月21日に閉鎖	0
建物	▷住家…全壊10棟（八木8棟、有家2棟）、半壊16棟（八木14棟、宿戸1棟、大町1棟）、一部破損1棟（坂組1棟）、床下浸水7棟（八木6棟、大町1棟）▷非住家…94棟▷施設など…種市ふるさと物産館（建物全壊）、観光トイレ（建物全壊）、ウニ等高度加工研修センター（建物全壊）、種市B&Gセンター（壁全壊、2階床落下、備品損壊など）、旧中野老人憩の家白寿荘（内壁の亀裂、戸枠の亀裂など）、大野庁舎（亀裂など）、大野小学校（壁に亀裂、ガラス破損）、向田小学校（照明、音響設備破損）、大野体育館（ガラス破損など）など	28,951
漁港	角浜漁港（南防波堤パラベット損壊など）、平内漁港・玉川漁港（海岸保全護岸パラベット損壊など）、川尻漁港（物揚場損壊など）、鹿糠漁港（船揚場損壊など）、戸類家漁港・宿戸漁港・小子内漁港・高家漁港（防波堤倒壊など）八木漁港（魚市場建物破損、漁村センター破損、消火栓破損など）、有家漁港（泊地損壊など）	500,88
漁協	▷玉川浜漁協…漁業用作業保管施設・漁船巻揚施設・監視小屋・漁具保管施設・漁船巻揚施設・簡易トイレ・漁船格納庫流出、漁船破損・流出26隻▷戸類家漁協…北浜倉庫・南浜倉庫・監視小屋・漁船巻揚機・漁船11隻流出、2隻大破▷種市南漁協…漁船上架施設6カ所水没・一部流出、製氷工場設備等一式・倉庫他建物8棟・荷捌き施設・保管庫・倉庫他建物6棟・倉庫他建物7棟・有家川さけふ化場関係施設4棟・海藻類干場・砕石など他2カ所、巻上機上屋・高家川さけふ化場・車両・灯油ローリー・施設内整備品・機械装置一式・漁船（組合2隻・個人83隻）、自営定置網一式・替網一式3ヶ統分・養殖アワビ流出、漁協事務所流出▷小子内浜漁協…車両・ユニックトラックなど冠水、保管作業施設他・浜小屋・冷水殺菌装置・冷蔵庫他流出・漁船（組合4隻・個人68隻）、定置網・資材類流出▷種市漁協…魚市場事務室全壊、平内ホタテ処理所・ボイル工場全壊、冷蔵庫全壊、川尻監視小屋半壊、平内漁港トイレ半壊、漁具倉庫・川尻ホタテ処理所・ユニック付4tトラック・電動フォークリフト・定置網番屋・漁船（組合5隻・個人76隻）、自営定置網全損流出など	213,844
その他	道路冠水、防災無線線局浸水（町内沿岸箇所）、大浜川JR鉄橋、潮位観測装置、情報通信基盤施設（八木北港湾内）・町道高家港線舗装（中野）・町道有家港線舗装（有家）・町道小子内港線防護柵、町道高家港線舗装流出・町道戸類家港線舗装流出、町道大浜八木線橋梁崩壊、土釜川土羽護岸崩（宿戸）、小山川土羽護岸崩（戸類家）、八木川土羽護岸崩（八木）、電力柱倒壊による吊し線損傷（JR有家駅周辺）、電力・NTT柱倒壊等により光ケーブル断線（鹿糠漁港周辺、八木南港周辺）、貯水槽高架タンク30t損傷（大野地区共同利用模範牧場）、給配水管破損（家畜保冷保管施設 洋野牧場内）、ビニールハウス1a3棟倒壊、ビニールハウス1a1棟半壊（八木）、水田（畦畔流出、土砂流入・流出）、水路埋塞、法面崩壊、しいたけホダ場流出、田畑5万8557㎡冠水、作業小屋1棟流出、乾燥小屋1棟倒壊、揚水機場損壊、鶏卵生産量減（第1ポートリーはまなす農場）、生乳120t廃棄、鶏57万4172羽死亡（十文字系列ブロイラー）、草刈機・水中ポンプ・発電機等流出、乾燥機1台損壊、6台流出、配水管および外装管一部屈折（鹿糠本線水道橋）、水道管立入禁止柵破損（第5送水管国道北線）など	36,309
合 計		329,192

ご支援に感謝します

町に義援金を寄付していただいた皆さんをご紹介します（敬称略。受付順で3月25日～4月21日分まで）。

■**団体**…(株)大畑建築設計（20万円）、みどりが丘保育園（9万1423円）、戸類家婦人会（5万円）、川尻地区会（10万円）、IK技研株（10万円）、町農業委員会（22万円）、(有)丸大県北農林（20万円）、大野婦人会（3万円）、(有)中野衛生社（10万円）、在京たねいち会（10万円）、上明戸地区会（10万円）、一戸町議会・軽米町議会・九戸村議会（10万円）、平内地区会（10万円）、平内婦人会（3万円）、東京大野つばさ会（143万6000円）、平成院（1万円）、(有)横道海産（10万円）、日本共産党中央委員会（300万円）、武蔵野興業(株)みどり会（5万円）、町社協はまなす会（2万2000円）、国保種市病院（6万7,997円）、県町村議会議長会（2万円）、全国町村議会議長会（3万円）、住友生命種市支部親睦会（2万円）、浦幌町模範牧場指定管理者(株)希興（10万円）、大野歯科診療所（6000円）、大野中区町内会（5万円）、日本国土開発(株)（100万円）、伝吉地区振興会（10万円）、(株)岡設計（30万円）、北海道浦幌町パークゴルフ協会会員一同（5万円）、浦幌町（100万円）、浦幌町役場職員一同（71万3000円）、浦幌町議会議員一同（6万5000円）、金ヶ崎町（30万円）、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（5万円）、北海道社警町（10万円）、鹿糠地区会（18万2300円）、下明戸地区会（2万1000円）、三重県遠洋漁業船員組合（10万円）、協同組合岩手県資産評価システムセンター（20万円）、四区町内会（5万円）、日本自治体労働組合総連合（50万円）、町生活研究グループ連絡協議会（3万円）、黒沼設計事務所（5万円）、(株)大入商店（5万円）、三区町内会（6万1370円）、県対ガン協会（10万円）、種市ロータリークラブ（15万円）、沖縄県金武町・金武区・金武区子ども会（226万8738円）、新日本設計(株)東北支社（5万円）、浦幌町消費者協会（4万5500円）、伝吉婦人会（3万円）、(有)環境計画工房（3万円）、町婦人団体連絡協議会（10万円）、町種市地区婦人会（5万円）、町職員（204万6335円）、角浜地区会（20万円）、小橋町内会（9万円）、種市幼稚園（1万4000円）、新岩手農業協同組合（10万円）、沢川電気(有)（10万円）、種市病院あおぞら会（2万円）、種市石油商業組合（10万円）、町石油商業組合（6万円）

■**個人**…澤口祥平（1万円）、梅田安雄（1万円）、大柳克也（1万1340円）、粒来徳美（3万円）、樋口一男（5万円）、滝川勝（3万円）、橋本三恵子（5000円）、蟹沢真貴子（1万円）、火石重次郎（5000円）、高橋一好（3,000円）、眞井富士男（1万円）、赤坂睦子（1000円）、川崎英司（3万円）、橋本博志（1万円）、岡田茂則（1万円）、増田道子（1万円）、橋場勇一（5万円）、館野清志（3000円）、大久保一男（5000円）、山崎善吉（5万円）、信田千束子（2万円）、佐々木安雄（10万円）、三浦義章・美代子（3万円）、川崎裕夫（1万円）、日影健治（1万円）、中鶴勇（1万円）、阿部和夫（1万円）、西平よしゑ（5万円）、中居敏（1万円）、濱平英治（1万円）、村田耕作（10万円）、花田則子（3万円）、信田福蔵（1万円）、井上美恵子（1万円）、榎谷勝美（1万円）、黒沢真佐子（1万円）、志田サキ（1万円）、山名ユリ（1万円）、大入寿男（3万円）、濱道彰次（2万円）、高崎巖（1万円）、米谷裕夫（5万円）、大光テイ子（1万円）、向折戸セツ子（3000円）、八木下和雄（10万円）、高橋房子（5万円）、佐藤憲子（1万円）、高倉慶子（3万円）、尾前孝一（2万円）、米田二郎・米田博子・米田大祐（20万円）、宮崎陽香（1万円）、西崎ユリ子（5万円）、権谷忠三（5000円）、上平長雄（1万円）、横葉ヒトミ（10万円）、鈴木トシ子（5000円）、坂本一彦（5000円）、木村文治（5万円）、野田和代（1万円）、三浦トシ（10万円）、奥寺哲平（1万円）、近藤喜隆（1万円）、坂井野沢栄二（3万円）、馬場聡（3000円）、荒谷隆一（2万円）、館下セツ（1万円）、磯崎秀子（1万円）、澤田正人（10万円）、向折戸邦雄（1万円）、西誠司（5000円）、時松辰夫（5万円）、高畑武則（10万円）、谷地正行（1万円）、ナカニシヨウスケ（1万円）、向井正人（3万円）、加藤秀紀（5万円）、野田誠（1万円）、林下馨（1000円）、奥寺龍太郎家族一同（4000円）、麦沢光亮（5000円）、長根山卓二（10万円）、間澤清助（5000円）、石橋祥子（1万円）、野口力（1万円）、桜小路考子（5万円）、山岸耕一（1万円）、玉沢芳男（3万円）、丸征子（2万円）、福島フサ子（1万円）、中家正一（1万円）、廣内鉄也（3万円）、磯崎一太（2万円）、吉田健（5万円）、木谷美和子（1万円）、仙座芳子（1万円）

■**非公開**…5件（33万5300円）

※町は引き続き、災害復旧のための義援金を受け付けています。詳しくは25頁をご覧ください。そのほか、救援物資も町へ数多く届いています。ご支援いただいた皆さま、ありがとうございました

INTERVIEW

皆さんの姿が「希望の光」に見え、「再開する」と強く決意した



社団法人岩手県栽培漁業協会
種市事業所所長

箱石 和廣 さん

津波が発生した3月11日は、事務所ですべて仕事をしていたが、警報が出てすぐに職員たちと避難しました。津波が発生した時は、役場の4階から見ていました。津波が漁港をのみ込み、うちの施設の水槽や建物の屋根が流されてくるのを見て正直「これはもうだめだろう」と思いましたね。途中で見ていられなくなって、役場を出てしまいました。



宿戸実行部会の約100人による片付け作業

実際に現場に行ってみたのは、警報が解除されてからでした。現場のあまりの光景に、体から力が抜けてしまいました。それまではどうやって復旧するかというのを考えていました。実際に現場を目の当たりにすると一瞬で「復旧？こんな状況で本当にそんなことが可能なのか？」という思いに変わりました。そこらじゅうに散乱した資材や大型水槽、10センチ以上も堆積した事務所内の土砂など、どこから手を付けていいか分からない状況で、ただ漠然と片付け作業をしていました。

そんな中、3月28日から4日間、種市高の生徒と教職員の皆さんが毎日約40人ずつ、4月4日には種市南漁協宿戸実行部会の皆さん約100人が、それぞれ資材などの片付け作業に来てくれました。その姿が、私たちに「希望の光」に見えました。と同時に、町の皆さんにとっては、この事業所の再開が「希望の光」なんだと感じました。

今回の箱石さんにお話を聞かせていただき、「強く決意した」と聞いた時に初めて「頑張ろう」と本音で言えるような気がしました。箱石さんの強い決意が、自分にとっての「希望の光」になったのだと思います。

旧するかとこのことを考えていました。実際に現場を目の当たりにすると一瞬で「復旧？こんな状況で本当にそんなことが可能なのか？」という思いに変わりました。そこらじゅうに散乱した資材や大型水槽、10センチ以上も堆積した事務所内の土砂など、どこから手を付けていいか分からない状況で、ただ漠然と片付け作業をしていました。

それぞれ自分のところの復旧作業で大変な時に大勢で作業してくださったおかげで、人の手でやれることはほとんど終わらせることができました。その後も、各漁協さんなどたくさんの方から「手伝わせてほしい」と声を掛けていただいています。あとの作業は重機でないと進まないところまできましたので、今はお気持ちだけいただいています。

編集を終えて

3月11日以降、震災関係の取材がほとんどでしたが、発生直後は被災現場でシャッターを切るたびに具合が悪くなりました。自分ですらそうなのだから、被害を受けた人たちは想像もできないくらいシヨックなのだろうと思います。取材先で「頑張ろう」、「負けないで」など、励ましの声も掛けられませんでした。

(特集終わり)

自分では前向きに考えているつもりでも、心のどこかでは「もうだめだ」と思っていたのだと思います。

◎各行政区の行政推進員 (敬称略、4月22日現在)

Table with 4 columns: 行政区, 氏名, 班数, 世帯数. Lists administrative staff across various districts like Nakano South, Nakano North, etc.

Table with 4 columns: 行政区, 氏名, 班数, 世帯数. Lists administrative staff across various districts like Wase, Ohtani, Takano, etc.

Table with 4 columns: 行政区, 氏名, 班数, 世帯数. Lists administrative staff across various districts like Mutsu, Rinsen, Kami, etc.

業務内容と任期

■農業委員

農地の保全や有効利用などに向けた各種活動を行います。任期は3年。 ※上大澤さんは前任者から引き継ぎ、岩手北部農業共済組合の推薦を受けて委嘱されましたので、任期は平成23年8月4日まで。

■行政相談員

国や特殊法人などの業務への苦情や相談を受け付けます。任期は2年。

■行政推進員

町や県、関係機関からのお知らせなどの伝達や配布、各種申告のとりまとめなど、各行政区内の連絡調整を図る行政連絡事務で、町と住民を結び役割を果たしています。任期は1年。

◎町内の小中学校と高校に配属された校長先生



宿戸小学校長 北村 順さん (58) ①千厩町 ②待浜小学校 ③読書 ④元気なあいさつ、しっかり勉強、体を鍛えるを目標に子どもを育てます。



城内小学校長 小原 俊郎さん (54) ①盛岡市 ②城西中学校 ③音楽鑑賞など ④家庭や地域の要望を踏まえ、地域に根ざした教育を進めたい。



種市小学校長 山田 幸朗さん (58) ①藤沢町 ②宿戸小学校 ③旅行 ④笑顔と夢がいっぱいで何事にも挑戦する学校づくりを目指したい。



大野高等学校長 互野 恭治さん (56) ①釜石市 ②盛岡北高校 ③テニスなど ④生徒たちには結いの心を大切に幅広い知識を身に付けてほしい。



種市高等学校長 渡辺 昌洋さん (58) ①宮城県塩釜市 ②花北青雲高校 ③詩吟など ④切磋琢磨して楽しく明るく学べる学校づくりに励みたい。



向田小学校長 宇部 容子さん (54) ①久慈市 ②白鳥小学校 ③読書、合唱 ④家庭や地域と連携し子どもたちの健全な成長に全力を注ぎたい。

◎行政相談員



青澤 一義さん (66) 下帯島・☎77-5225



大光 栄子さん (56) 横手・☎65-4027

◎農業委員



上大澤 高男さん (60) 大沢・共済組合推薦

よろしく お願いいたします

この春から新たに町内の小中学校に赴任された校長先生を紹介いたします(①出身地 ②前任地(校) ③趣味 ④今後の抱負)。併せて、農業委員、行政相談員、各地区の行政推進員を紹介いたします。

※世帯数は、役場からの文書などを配布している(各行政区の地区会などに加入している)数です。実際の世帯数と異なります

国保税の引き上げについて

皆さんに安心して医療を受けてもらうために、平成23年度から国保税（国民健康保険税）が引き上げとなりました。国保（国民健康保険）の仕組みと、町の国保の財政状況をお知らせします。

国民健康保険制度と税に関する問い合わせは…

役場町民生活課（種市庁舎） ☎ 65-5914
 役場税務課（種市庁舎） ☎ 65-5913
 役場総合サービス課（大野庁舎） ☎ 77-2112

表1) 国保の財政状況

区分	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度見込
歳入総額	281,736	271,955	287,876	279,537
歳出総額	267,225	258,952	278,969	275,648
前年度繰越金	13,792	14,511	13,002	8,907
単年度収支	719	△1,508	△4,095	△5,018
基金繰入金	7,128	12,000	21,300	20,929
基金年度末残額	60,247	48,445	27,264	6,372

総額から前年度繰越金と歳出総額を引いた額は、平成20年度には1508万円の赤字になりました。以降、単年度収支の赤字は年々増え続け、平成22年度見込みでは5018万円まで膨らんでいます（表1）。

町は、加入者の負担を増やさないうちに、基金（財政調整基金）を取り崩して歳入に繰り入れること（基金繰入金）で不足した財源を賄ってきました。しかし、赤字が膨らむにつれて基金から繰り入れる額も年々増え続け、基金の残高は平成19年度の6億247万円から、平成22年度には6372万円と、4年間で約9割減り、平成23年度には基金を全額取り崩しても財源の不足を賄いきれなくなる見込みとなりました（表1、グラフ3）。

引き上げ率は13・1%

町は、財源不足を解消するため、国保税の引き上げをすることになりました。不足した財源を国保税で賄うためには、国保加入者一人当たり平均34・4%（平均年間税額にすると約2万4千円）の税率の引き上げが必要となります。しかし、加入者の負担が急激に増えることによるため、不足額の一部を町が負担し、税率の引き上げ幅を一人当たり平均13・1%（年間税額にすると約9千円）にすることにしました。

詳しい改正内容は、所得に

国民健康保険制度の仕組み

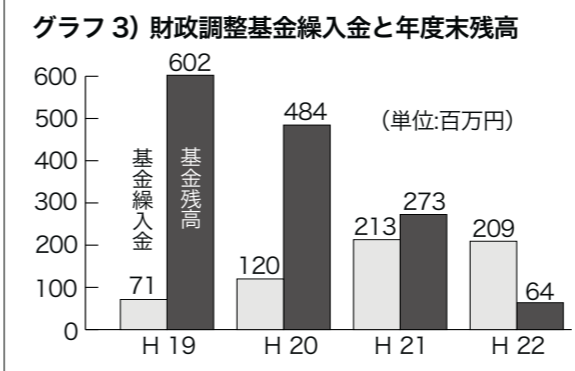
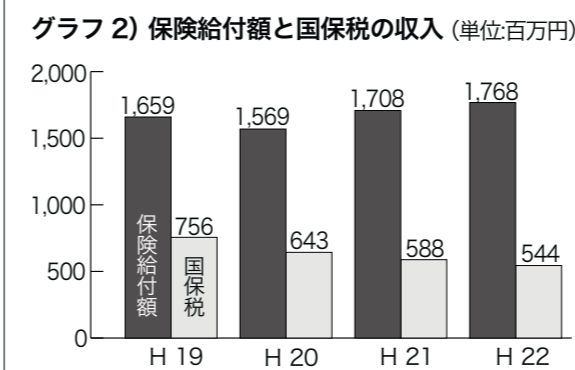
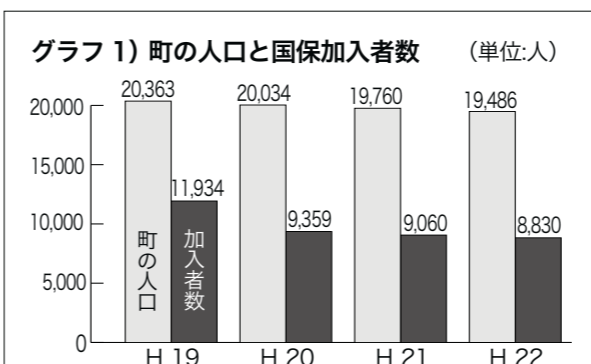
国保は、加入者の皆さんが国保税を負担し、病気やけがで病院にかかったときや、出産や死亡した時に保険給付を行う制度です。

市町村が独自で運営している国保は、原則として独立採算となっているため、保険給付の額に応じて収入を確保しなければなりません。財源は、加入者が負担する国保税のほか、国や県からの負担金、町からの繰入金などの公的財源で賄われています。これら

の財源のうち、公的財源は一定の割合で交付されているため、保険給付額が増えれば、加入者が負担する国保税を引き上げて収入を確保しなければなりません。

加入者数と加入率は減少

町の国保の加入者数と加入率は、平成19年度が1万1934人、58・61%だったのに対し、平成20年度には、後期高齢者医療制度が始まったことなどにより9359人、46・72%と大きく減少し



ています（グラフ1）。その後は出生率の低下などの理由により緩やかに減少していましたが、加入率は平成22年度まで、ほぼ横ばいで推移しています。平成19年度からの4年間で、加入者は3104人、加入率では13・3%減少していることとなります。

保険給付額は増え、収入は減少傾向

保険給付額を見てみると、平成19年度は約16億5900万円だったのに対し、平成22

年度見込み額では約17億6800万円となっており、4年間で約1億9000万円増加しています。平成20年度には、若干減少しているものの、全体で見ると増加の傾向にあります。

加入者数が減少しているなかで保険給付額が増加している原因として、加入者の高齢化、医療の高度化などがあげられます（グラフ2）。

また、国保税の収入は、加入者の減少、長引く不況による加入者の所得額の減少などにより大幅に減っています。平成19年度に約7億5600万円納められていた国保税は、年々減少を続け、平成22年度見込みでは約5億4400万円と、4年間で約2億1200万円減っています。

膨らむ赤字 基金を繰り入れ

加入者数の減少、保険給付額の増加により、町の国保の財政状況は年々厳しくなっています。平成19年度に719万円の黒字だった単年度収支（歳入

関係なく1世帯当たり課税される平等割額、加入者1人当たり課税される均等割額はそれぞれ3600円（介護納付金分1200円含む）増えます。所得に応じて課税される所得割額は2・35%（介護納付金分0・55%含む）増えますが、固定資産税額に応じて課税される資産割額は変更ありません（表2）。なお、介護納付金分とは40歳以上65歳未満の加入者へのみ課税されます。

表2) 国保税の改正内容

課税区分	内容	22年度(改正前)	23年度(改正後)	引き上げ幅
平等割額	1世帯当たり	31,200円	34,800円	3,600円
均等割額	加入者1人当たり	27,600円	31,200円	3,600円
所得割額	課税所得に応じて算出	6.65%	9.00%	2.35%
資産割額	固定資産税額に応じて算出	36.00%	36.00%	0.00%
課税限度額	1世帯当たり	730,000円	770,000円	40,000円

健康管理で医療費の節減を

国保を健全に運営していくためには、年々増え続けている医療費を抑えることが必要となります。規則正しい生活や適度な運

動を心掛け、加入者の皆さん一人ひとりが健康に気を配ることで、医療費を節減することもできます。町は、これらも各種検診や健康講座で皆さんの健康管理のお手伝いをしますので、ご理解とご協力をお願いします。

皆さんの声が届いています

平成18年3月からスタートしたふれあい町長室。
5年間で362人から572件の意見・提言が寄せられています。

町民の皆さんからの意見や提言などを水上信宏町長が直接聞き、町政に反映させるために行っている「ふれあい町長室」。平成22年度は、4月から2月までに12回開催。78人から80件の意見・提言が寄せられました。

建設関係が最多20件

80件の意見・提言の内容を分類すると、建設関係が20件と最も多く、商工が14件、町民生活が11件、農林が8件と続いています。(表1)。

寄せられた意見・提言には、現地調査などを行ったうえで検討の結果を回答。可能なも



東大野生活伝承館でのふれあい町長室(平成22年7月27日)

のから事業化しています。

572件の意見提言

ふれあい町長室は平成18年3月にスタートし、平成23年2月までの約5年間、役場や地区センターなどで計47回開催。362人から572件の意見・提言をいただき(表2)、うち115件は提言に沿った措置がされました(意見・提言の一部は次ページ参照)。

本年度もスタート

ふれあい町長室は、平成23年度も引き続き町内各会場で開催しています。

本年度のふれあい町長室は、3月11日に発生した大津波により甚大な被害を受けた地区の住民からの意見や提言を町へ吸い上げるため、第1回は4月7日に八木南町地区センターで、第2回は4月8日に有家地区センターで開催されました。

両会場で開催されたふれあい町長室には、2会場合わせて約126人が参加。地域住

表2) 意見・提言の年度別件数

年度	開催回数	提言者数	提言件数
平成17年度	1回	16人	24件
平成18年度	8回	61人	94件
平成19年度	10回	79人	158件
平成20年度	9回	91人	153件
平成21年度	7回	37人	63件
平成22年度	12回	78人	80件
合計	47回	362人	572件

民など20人の提言者から38件の意見・提言が寄せられました。

寄せられた意見・提言の内容は、被災者の今後の生活、被災した建物や道路、JR八戸線の復旧、仮設住宅や防潮堤の建設、県栽培漁業協会の今後の見通しに関する事など、そのほとんどが津波の被害に関係するものでした。

町は、皆さんから寄せられた意見・提言に沿った措置に向け、すぐにできるものは早急に対処し、町が単独で解決



本年度第1回目のふれあい町長室(4月7日)

することが難しいものについては、関係機関に対して継続的に要望を続けていくなど、

できる限りの努力をしています。

町長と未来を語る場

個人が対象の「ふれあい町長室」は、農繁期と町議会定例会を避けた月1回を基本に、各種団体などが対象の「訪問ふれあい町長室」は、希望により随時開催します。

両町長室は、広く町民の皆さんの声を直接聞き、町政に反映させ、町民が主体のまちづくりを進めることを目的に

開設されています。

まちづくりへの意見・提言がある人は、ぜひお気軽に足をお運びください。町長と町の未来を語り合いたしましょう。

■開設の申込・問い合わせ先

役場企画課(種市庁舎)

☎ 65-5912

役場地域振興課(大野庁舎)

☎ 77-2111

事業化された意見・提言の一部を紹介

■提言…子宮頸がんのワクチンを接種する費用を助成してほしい(平成22年4月15日、役場種市庁舎)

▷回答…国や県に働きかけていく

◎経過…中学1年生(平成22年度に限り2、3年生を含む)を対象に、ワクチン接種費用全額の助成を実施(平成22年7月)



種市病院でのワクチン接種

■提言…昨年11月の町政懇談会で、国道395号にカーブミラーを設置してほしいと要望したが、その後の経過は?(平成22年7月27日、東大野生活伝承館)

▷回答…平成22年度の当初予算に計上して現在進めている

◎経過…設置完了(平成22年9月17日)



国道395号の上浦地区付近。カーブミラー設置後

■提言…明戸公民館の入口付近にセンサー式の電灯を設置してほしい(平成23年1月12日、明戸婦人会)

▷回答…すぐに対応する

◎経過…平成22年度補正予算に計上。設置完了(平成23年3月31日)

■提言…大野診療所と歯科診療所の存続のため、医師の確保をお願いしたい(平成23年1月16日、泥濘地区振興会)

▷回答…町内に勤務する医師の皆さんの定年を65歳から70歳に引き上げた。また、町では医師養成のため学生3人に奨学金を交付している(平成21年4月1日～)

◎経過…今後も医師を確保するため、奨学生制度の周知を図っていく



町の保健師、野田智春さん（左）と橋場里美さん

こ・ち・ら 保健センター

◎震災後のこころとからだの健康

災害や事故などのショックな出来事を体験した後は、こころとからだにさまざまな変化が起きます。これは、日常とかけ離れた衝撃的な出来事に対する正常な反応です。症状の多くは時間がたつと自然と回復していきます。体調に変化がある場合は「食事・睡眠・運動・休息を大切に」、「深呼吸やストレッチ体操でリラックス」、「気持ちや体験を言葉にして誰かに話す」などの対応を心掛けてください。

また、子どもも大人と同じように、こころとからだに変化が表れる場合があります。「笑顔で話しかける、抱きしめる」、「話を聞いて気持ちを受け止める」などのことを心掛け、子どもに安心感を与えてあげてください。

ご家族の体調の変化が長引くなど心配なときは、遠慮なくご相談ください。

◎がん検診が始まります

町は、5月16日～25日まで「子宮がん・乳がん検診」、5月23日～6月11日まで「胃がん・大腸がん・肝胆腎検診」を行います。

今年1月にいただいた各世帯からの申し込みに基づき、検診希望者へ各地区の保健推進員を通じて受診票、案内をお渡しします。

また「子宮がん・乳がん検診」では、特定の年齢の人を対象に検診無料クーポンを配布しますので、健康管理のために受診することをおすすめします。

「がん」は、日本人の2人に1人がかかるといわれています。克服する最大のポイントは「早期発見・早期治療」です。この機会にぜひ、がん検診を受けましょう。

検診の申し込みに追加などがある場合は、問い合わせください。

■相談窓口、問い合わせ先 種市保健センター ☎ 65-3950、または大野保健センター ☎ 77-3576

町まちづくり推進委員会 委員を募集

町は「洋野町まちづくり推進委員会」の委員を募集します。同委員会は、まちづくりを進めるうえでの基本的なルールを定めた町の最高規範「洋野町まちづくり基本条例」（平成21年4月1日施行）の中で設置が定められているものです。

委員の役割は、町政に参画する方法の研究・改善策の検討、協働の推進や評価、必要に応じて条例の見直しを検討することなどで、評価や検討の結果は、委員からの提言として町長に報告され、その後のまちづくりに生かされることになります。

第1期目の委員会では、参画に対する他市町村の動きの研修や地域づくりの研究、まちづくりシンポジウムの開催などを行ってきました。

町の総合計画でも基本目標に掲げる「参画」と「協働」を進めるため、皆さんからの応募をお待ちしています。募集要領は次のとおりです。

- 募集人数…5人
- 応募資格…町内に住所のある20歳以上（平成23年4月1日現在）で、平日に開催する会議に出席できる人。町議会議員、常勤の公務員の方は応募できません
- 任期…委嘱された日から2年間
- 報酬など…町の規定に基づき、報酬と旅費を支給します
- 応募方法 ▶提出書類…①委員応募用紙、②テーマ「まちづくりについて」に基づいた作文（400字～800字程度）▶提出方法…持参、郵送、電子メール、ファクスで提出してください。応募書類は返却しません ※ 応募用紙は下記問い合わせ先で配布しているほか、町のホームページ（<http://www.town.hirono.iwate.jp>）からダウンロードできます
- 募集期間…平成23年5月2日（月）～5月27日（金）
- 選考方法…書類選考により候補者を決定します
- 結果通知…委員の決定後、応募者全員に結果を通知します
- 応募・問い合わせ先… 役場企画課（種市庁舎）担当：竹高、奥寺 〒028-7995 洋野町種市 23-27 ☎ 65-5912、ファクス 65-4334、電子メール kikaku@town.hirono.iwate.jp または役場地域振興課（大野庁舎）担当：榎木澤、坂下 〒028-8802 洋野町大野 8-47-2 ☎ 77-2111、ファクス 77-4015、電子メール ohno-chiikishinko@town.hirono.iwate.jp

「洋野町まちづくり基本条例」は、町のホームページからPDF形式でご覧いただけるほか、役場企画課（種市庁舎）、地域振興課（大野庁舎）、中野支所にも配置しています。



狂犬病の予防注射を行います

生後91日以上になる犬の飼い主は、年1回の狂犬病予防注射が法律で義務付けられています。下記の日程で予防注射を行いますので、忘れずに予防注射を受けさせましょう。当日は、①通知はがき（表面問診票に必要事項を記入のこと）、②注射料3,100円（新規登録の場合は6,100円）を忘れずにお持ちください。



▼5月26日（木）

高取村づくり会館前	9:00～9:05
和座地区加工処理センター前	9:15～9:25
大谷地区センター前	9:35～9:45
城内地区林業センター前	10:00～10:20
滝沢地区伝統文化等保存伝習施設前	10:35～10:45
大沢地区公民館前	10:55～11:10
麦沢・荒屋敷バス停前	11:20～11:30
麦沢地区コミュニティ会館前	11:35～11:45
伝吉地区村づくり推進センター前	12:00～12:25
角浜漁村センター前	13:40～14:10
種市漁協平内支所前	14:20～14:40
種市漁協川尻支所前	14:50～15:20
種市しいたけ推進センター前	15:30～15:50

▼6月1日（水）

中野地区コミュニティ体育館前	9:00～9:30
役場中野支所前	9:35～9:55
有家なかよし集会所前	10:05～10:45
旧小子内小学校入口	10:55～11:25
JR陸中八木駅前	11:35～11:50
八木北町消防屯所前	11:55～12:15
宿戸農漁村センター前	13:30～14:00
戸類家漁協前	14:15～14:30
玉川・旧（株）岩本電機脇	14:40～14:55
鹿糠・大久保集会所前	15:05～15:25
種市幼稚園前	15:35～15:50
種市勤労青少年ホーム前	15:55～16:25

▼6月2日（木）

極木善八様宅前	9:15～9:25
秋山武美様宅前	9:35～9:45
水沢地区消防屯所前	9:55～10:05
水沢生活改善センター前	10:10～10:20
十文字ヨシ様宅前	10:30～10:40
境橋清作様宅前	10:50～11:00
萩の渡開拓・旧水上宅付近	11:10～11:20
棚場地区センター前	11:30～11:40
上小路喜作様宅前	13:00～13:15
林朝男様宅前	13:20～13:35
南ヒメ様宅前	13:40～13:50
塩倉商店脇	13:55～14:20
弥栄地区センター前	14:30～14:55
長塚森集会所前	15:00～15:15

▼6月3日（金）

役場大野庁舎車庫前	9:00～9:30
源田バス停前	9:35～9:45
横岸沢バス停前	9:50～10:00
野田松男様宅前	10:05～10:15
上川原橋ごみステーション前	10:20～10:35
中山トミ様宅前	10:40～10:55
中山住宅・坂ノ上バス停前	11:00～11:15
金澤イシ様宅前	11:20～11:40
中屋敷幸吉様宅前	11:50～12:00
蒲の口婦人ホーム前	12:05～12:15
新田徳男様宅前	13:30～13:45
奥寺誠人様宅前	13:50～14:00
蛇口商店前	14:10～14:35
中村まり子様宅前	14:40～14:50
瀧音岩藏様宅前	15:00～15:15
野中政行様宅前	15:20～15:30

▼6月6日（月）

のとみ脇	9:05～9:20
大野映劇前	9:25～9:40
下組バス停前	9:45～10:00
しも地区生活館前	10:05～10:20
野坂弘次様宅前	10:30～10:45
苗代沢地区センター前	10:50～11:05
林郷末造様宅前	11:10～11:25
権谷地区センター前	11:30～11:45
太内田バス停前	13:00～13:10
関口バス停前	13:15～13:25
川津内ごみステーション前	13:30～13:45
三本木バス停前	13:50～14:05
坂川正志様宅前	14:10～14:25
村田常男様宅前	14:30～14:40
森外廣直様宅前	14:45～14:55
百鳥良信様宅前	15:00～15:10
萬谷義雄様宅前	15:20～15:35
一本松アキ様宅前	15:45～15:55

※期間中は、町内のどの場所でも予防注射を受けることができるほか、動物病院などでも随時行っています。忘れずに受けさせましょう。

【問い合わせ先】役場町民生活課 ☎ 65-5914

大野中と種市小が新たな歴史への第一歩

種市小学校入学式



- ①期待と不安に胸を膨らます新入生たち
- ②2年生の児童が明るく元気な歌を披露し、緊張した会場の雰囲気をも和ませた
- ③迎える言葉を述べる佐藤綾乃さん



種市小学校(山田幸朗校長・児童260人)で4月7日、平内小学校と統合後初めての入学式が行われました。同校の体育館で行われた式には、児童と教職員のほか、来賓や保護者など約320人が出席。旧種市小学区と旧平内小学区からの新入生38人の入学を祝いました。

式では、山田校長のあいさつに続き、麦澤正剛教育長が「新入生は、友達をたくさんつくり勉強も遊びも楽しんでほしい。在校生は、今年度から平内小と種市小の仲間が一緒になったので、仲良く新入生を手助けしてほしい」と祝辞を述べました。迎える言葉では、児童会会長の佐藤綾乃さんが「先生や地域の人もみんなが応援しているので、これからの学校生活を一緒に頑張ろう」と、新入生たちに優しく呼び掛けました。

式の最後には、2年生の児童たちが「2年生になったら」の歌などをサブライズで披露。種市小学校は、児童たちのたくさんの笑顔で新たなスタートを切りました。

大野中学校開校式



- ①2、3年生全員で新校歌「北に歌う」を合唱し、生徒の心がひとつになった
- ②麦澤正剛教育長から田村校長(右)へ新しい校旗が授与された
- ③誓いの言葉を述べる芦口和哉さん



大野第一中学校と大野第二中学校が統合して誕生した大野中学校(田村敏実校長・生徒188人)の開校式が4月6日、同校体育館で行われ、出席した生徒や教職員、来賓など約200人が開校を祝いました。

午前9時から行われた式では、田村校長が「二校が歴史に区切りを付け、新生大野中学校が開校した。教職員一同、日本一の生徒にするべく頑張る指導していく」とあいさつ。生徒を代表して芦口和哉さんが「両校が築いた、あいさつ、応援、合唱の伝統をさらに飛躍させていく」と誓いの言葉を述べました。

新校歌「北に歌う」は、旧大野村出身で盛岡大学教授の齋藤岳城さんが作詞、元大野村教育長で県合唱連盟理事長の太田代政男さんが作曲したもので、開校式の最後に太田代さんの指揮のもと、出席者全員で合唱しました。

開校式修了後は入学式が行われ、保護者などが見守る中、大野中学校として最初の新生55人が入学しました。

町内の学校や地域、各種団体などで行われた催しを紹介します。

もっと! もっと! まちの話 題



「安全運転お願いします!」

みどりが丘保育園(七役恵園長)の年長組15名が4月13日、たねいち産直ふれあい広場で手作りストラップを運転手へ配り、安全運転を呼び掛けました。



黄色い傘で通学の安全願う

種市地区交通安全協会(荒谷弘会長)が4月4日、種市地区の各小学校へ通学の安全を願い、新入生87人分の黄色い傘を寄贈しました。



街頭で交通安全を呼び掛け

町交通安全対策協議会(水上信宏会長)が4月11日、町内11カ所で交通安全の街頭啓発を行い、登校中の児童生徒やドライバーに交通安全を呼び掛けました。



バケツいっぱいに入ったイワナを川へ放流する地域住民

地域で景観を守ろう

大沢地区環境保全実践組織(久保田正治会長)が4月17日、川尻川にイワナを放流しました。会長は「この川にはホタルがすんでいる。ホタルもイワナもきれいな川にしかすめない。このきれいな環境や農村の景観をいつまでも守ってほしい」とあいさつ。地域住民約20人が2500匹のイワナを川へ放流しました。



オープニングセレモニーでは来賓12人が始球式

愛 大野パークゴルフ場がオープン 愛好者たちが初プレー

4月10日、おおのキャンパス内の大野パークゴルフ場がオープンし、待ちわびた愛好者たちが、今シーズンの初プレーを楽しみました。

同日行われたオープニングセレモニーでは、町パークゴルフ協会の館勝男会長が「今年は大野にパークゴルフが伝わって20年の節目の年。誰でも手軽にできるスポーツを楽しんでほしい」とあいさつ。来賓による始球式が行われ、開幕を祝いました。同ゴルフ場は11月末まで無休で営業します。



(写真上) 合同練習する宮古ジュニアと大野高校の選手。ステージ上には町内の選手が書いた「がんばろう宮古!! がんばろう岩手!」のメッセージ



(写真右) 午前の練習を終えて、一緒に昼食をとり、親睦と交流を深める選手たち

被 宮古市の卓球クラブと合同練習 災地支援で交流深め

町卓球協会(阿部俊夫会長)が4月9日、10日の2日間、東日本大震災で被災した宮古市の卓球クラブ「宮古ジュニア」の選手を町に招き、春季合同卓球練習会を行いました。

大野体育館で行われた練習会には、宮古ジュニアのほか洋野町内の小中高校生約70人が参加。合同練習で卓球技術の向上と卓球ができる喜びを分かち合いました。宮古ジュニアの小林みちる監督は「この2日間はみんな震災を忘れ、練習に打ち込めたようだ。地元では練習場所の確保が難しい。洋野町の皆さんに感謝したい」と話していました。



開所式で施設職員を前にあいさつする水上町長

新 介護療養型老人保健施設たねいち 型老健施設で開所式

町が国保種市病院の4階部分を改修して整備した町介護療養型老人保健施設「たねいち」の開所式が4月1日、同施設で行われました。

式では、水上信宏町長が「この施設は『新型老健』とも呼ばれ、介護と医療を融合したサービスが求められる。安全で的確な介護を行い、施設の健全運営をお願いしたい」とあいさつしました。同施設は、介護保険の施設サービスとして制度化され、病状が安定した人や一定の医療措置が必要な高齢者を受け入れる施設です。



水上町長へ出発の報告をする明戸団長と久慈消防署種市分署員

大 震災被災地に消防車両を貸与 槌町へ向けて出発式

洋野町消防団(明戸実団長)が4月11日、消防車両1台を大槌町へ貸与するため、出発式を行いました。役場種市庁舎前で行われた式では、明戸団長が水上信宏町長に、消防車両の出発を報告しました。

東日本大震災の被災地を支援するため、財団法人岩手県消防協会より要請を受け、今回貸与する消防車両は、町消防団の本部連絡車として使用していた車両に消防資機材を取り付けたもので、被災により消防車両が不足している大槌町で災害活動等に活用されます。

沖繩から温かい善意

■金武町長が来町、町へ義援金



水上町長に義援金を手渡す儀武剛金武町長（右）



沖繩の暑い夏を体験（平成22年8月）



スキー体験で交流（ことし1月）

4月14日、沖縄県金武町から儀武剛町長をはじめとする訪問団4人が来町。東日本大震災による町の被災状況を視察し、町に義援金を寄付しました。

訪問団は、役場種市庁舎で日當博治副町長から被災状況の説明を受け、被災した川尻種市、八木の漁港を視察。その後、儀武町長が募金や金武区子ども会が行ったバザーの収益金も含まれた義援金22万8738円を水上信宏町長に手渡しました。

儀武町長は「金武町と子どもたちの気持ちを直接伝えたく訪問させていただいた。現場を視察させていただいたが、復旧に向けて一歩ずつ前に向かっていけると感じ、逆にこちらが勇気づけられた。困ったことがあれば、支援していきたい」と激励。水上町長は「沖繩の皆さんから元気を



被災状況の説明を受ける訪問団。写真右から儀武町長、渡慶次賀佑金武区長、大城一之金武区子ども会育成会長、比賀貴一金武町総務課長

をたくさんいただいた。町のために、大切にに使わせていただきたい」と、温かい善意に感謝しました。

町は、旧種市町時代から金武町との交流を続けており、昨年8月に本町から22人の交流団が金武町を訪問。今年1月には、金武町金武区子ども会から23人の交流団が来町し、子ども同士の交流で親交を深めています。

水中運動仲間を募集します

「タマちゃんクラブ」では、一緒に水中運動を行う仲間を募集しています。

腰や膝などの関節痛や肩こり、メタボリックシンドロームなどで悩んでいるという人は、一緒に水中運動に参加してみませんか。

■日時 毎週火曜日と毎週金曜日の午後1時30分～3時30分

■場所 種市屋内温水プール

■費用 1回につき200円（プール使用料）

■問い合わせ タマちゃんクラブ代表 館野 ☎ 6554001



まちの図書館通信 本

■種市図書館（☎ 65-3943）



プロリマンになろう

福島 正人 著（同友館）
社会人として必要な基礎知識・スキルを学べる「社会人の教科書」。会社や職場で一目置かれる存在、「あの人はできる!」と称賛されるプロリマンになろう。



折る貼る飾る 楽しいおりがみ絵本

朝日勇 指導（パッチワーク通信社）
脳の活性化は手指から。メルヘンの世界やかわいい動物たちの「おりがみ」をパーツにし、とても楽しい一枚の絵に仕上げていく方法をカラー図解でわかりやすく紹介。

【催し】「おりがみ展」…5月1日(日)～31日(火)まで
【休館日】 5月3日(火)、4日(水)、5日(木)、11日(水)、18日(水)、25日(水)、6月1日(水)

■大野図書館（☎ 77-4086）



おしまいのデート

瀬尾 まいこ 著（集英社）
祖父と孫、元不良と老教師、特に仲良くもない男子同士、協力して一緒に公園で犬を飼うOLと男子学生。何気ないのに人と人とのつながりを軽やかに描く、5編収録の作品集。



黒猫オールドウィンの冒険

A・Jエプスタイン
Aジェイコブスン 作（早川書房）
偶然から魔法使いの相棒「ファミリア」となった野良猫オールドウィン。さらわれた魔法使いたちを救うためカエルと小鳥とともに危険な旅にでる…。傑作冒険ファンタジー。

【催し】「春の野山に関する本展」…5月1日(日)～31日(火)まで
【休館日】 5月2日(月)、3日(火)、4日(水)、5日(木)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

まちの文芸



薫潮句会四月例会（題〓当季雑詠、兼題〓鯉幟）
「かわい」と児の指差して犬ふぐり
訪ね見し石割桜の三分咲き
たんぼほの黄色い光がれき跡
草の芽や希望をもらい前向きに
水仙の芽の揃いける明日かな
停電に肩寄せ合いて寒き春
いつのまに嬰も園児に桜咲く
残り鴨波を枕にゆれてをり
乾きたる道どこまでも下萌ゆる
津波あとの破船の底に春の月

ゆり まこ 八重子 長子 純子 栄子 祐光 玲子 寿重

黒潮川柳句会（兼題〓揺れる・当季雑詠）
揺れるたび家族の支え有難い
生きと死の狭間決断揺れている
揺られても落ちる物無しわが壻
金銭が絡むと揺れてくる絆
揺れているわたしか大地どっちな
震災に希望の光呱呱の声
すわ地震揺れを増幅するばかり
自主避難揺れを増幅するばかり
目目目目目恐怖に揺れる被災絵図
すわ地震歴史はボケじ繰り返す
震災の揺れる心で春を待ち
揺すられて壊れた家に今朝の雪

小松 裕子 柳清水広作 典子 坂久保晚祥 桐香 大長根英子 閑人 野口一滴 赤坂 香仙 長根 鬼赫

清流短歌会
写るたび瓦礫と化した被害地の全て無くした悲しみの顔 長根 武信
映像に津波の引き潮仮借なく人家を車をなべてを曳きゆく 出石 佑
一揺れで科学の粋も人口も敢えなく潰れ三陸は消ゆ 坂久保松雄
山上の畑は無事と手入れする津波の後の義姉の強さよ 吉田 幸子
引き波に流るる船の数多く車も小屋も芥となりて 小林 康夫
いまさらどんな言葉をかけようかブリキを下げて来る人に逢ふ 堀米 繁男
帰る日とうに過ぎての再会に思わず抱きしめ無事を喜ぶ 関向 京子
バリバリと激しき音たて眼前に迫りて来たる波々津波 酒井 久男
震災にしてあげることせめてもと暖房弱くし重ね着をする 東井 アヤ

結婚式場の美容室で働いて
花嫁さんをきれいにセットしたい



勝田 由紀さん

22歳・角浜・血液型：B型
勤務先：イン東京八戸白銀店

★職場で心掛けていることは
美容師のアシスタントをして
います。笑顔で明るくお客
さまに話しかけるように心掛
けています。

★趣味・特技は
買い物、ドライブ、音楽鑑
賞、お菓子作りです。

★自分の性格は
マイペースです。人見知り
をしないせい、周りの人か
らは「話しやすい」と言われ
ます。

★今してみたいことは
専門学校も一緒だった幼な

じみが神奈川県にいたので、
会いに行きたいです。

★理想の異性像は
背が高くかわい顔の
人。あとは、一緒にいて落ち
着ける人がいいですね。

★町に期待することは
若い人が楽しめるレジャー
施設とかショッピングモール
ができるといいですね。

★将来の夢は
もつと色々な勉強をし、
将来は結婚式場の美容室で働
いて花嫁さんをきれいにセッ
トしてあげたいです。

いきいきらいふ 62

野菜の有機栽培を
成功させたい



左館 刃太郎さん(上明戸)
大正14年1月11日生・86歳

●趣味、特技は…
3年前まで観賞用の菊
を育てていましたが、最
近は野菜づくりです。冬
場でも農作業ができるよ
うに、ハウス栽培をして
います。

●元気の秘けつは…
体を動かすことです
ね。家でじっとしている
より体を動かしているの
が好きです。

●今、一番の楽しみは…
有機栽培に関する本を
買って、研究しています。
成功させてみんなにやり
方を教えたいです。

●一番の思い出は…
戦争ですね。昭和20年の3月に入隊して、青森県の浅所(平
内町)にいる時に終戦を迎えました。八戸から歩いて大野に
向かう途中、百貨店の前で進駐軍が子どもたちにキャラメル
を配っているのを見て「終わったんだ」と思いました。

笑顔の天使たち 54



安藤 詩乃ちゃん(右・長女・6歳)
麗乃ちゃん(中・三女・5カ月)
比奈乃ちゃん(左・次女・4歳)

◎好きなことは何ですか？
(詩乃ちゃん) かくれんぼ！
(比奈乃ちゃん) レゴ(ブロック)で
おうちを作ること！

◎両親の茂樹さん、真由美さん(戸類
家)からひとこと…
「3人仲良く、優しい子に育ててね」

ふるさとから
精一さんへ



友人
川代 壽さん(大野中区・74歳)

精一さんは、昔から温厚で頼
まれると「いや」と言うのが嫌
いな人でした。2人とも昭和63
年に設立した「昭和一二三会(昭
和12、13年生まれの人たちの
会)」の中心メンバーで、いろ
んな活動をしましたね。

最近はなかなか会っていま
せんでしたが、大野で暮らすよ
うになったら、大いに年寄り同
士の交流を深めましょう。



左から精一さん本人、孫の杏咲ちゃん(4歳)、茉春ちゃん(8歳)、
海空ちゃん(12歳)

野田 精一さん
(中山住宅出身・73歳)

まず初めに、東日本大震災で被災され
た方々に心よりお見舞い申し上げます。
昭和28年に大野第一中学校を卒業し、職
人になる修行のため東京都品川区武蔵小山
町の親方のところへ上京しました。色々な
事を学び、5年後、独立のため田舎に帰り、
12年勉強しました。しかし、めまぐるしい
技術の発展に追いつけないようにと思い、昭和
47年、家族も連れて神奈川県へ拠点を移し、
新しい技術を取り入れながら38年精進して
きました。

大野には、お盆と正月に出来るだけ帰る
ようにしています。初めての上京は夜行列
車で一日がかりでしたが、交通機関の発展
と同時に、育った頃の故郷の面影は少し
づつ無くなってしまいました。便利になっ
た事は助かりますが、寂しい気持ちもあり
ます。私が今まで頑張ってきたのは、愛す
る故郷や家族、友がいてくれたおかげで
す。本当にありがとうございます。私もそ
ろ故郷に戻り、家内と仲良く暮らした
いと思っています。

生まれ！
むし歯のない子紹介

◎種市保健センター4月19日の2歳児健診



八島銀音くん(有家) 長根山 都都くん(有家) 長根悠比くん(中野北区) 丹野真生くん(棚場) 粒來佳太郎くん(中野南区)

菊池一陽くん(鹿糠) 上畑柚稀くん(小子内) 鹿糠彩音ちゃん(小子内) 澤口 湊くん(小子内)

角嶋 柊雅くん(城内) 鶴嶋 桜我くん(角浜) 中野 叶絵ちゃん(平内) 小橋 瑛太くん(川尻) 工藤 柚佳ちゃん(川尻)

みんなの広場

みんなの広場

開催

「3月の絆」コンサート

0194エリア女性支援 ネットワークは、東日本大震災の被災地で復興のため懸命に努力している皆さんを手助けするため、チャリティーコンサートを開催します。テーマは「歌と夢灯りでつなごう、新たな出会いと明日へのエネルギー」。出演者は盛岡市出身のシンガーソングライター太田代将孝さんや地元音楽を愛する仲間たち。このコンサートでの募金、収益金などは久慈広域管内の市町村へ届ける予定です。

■日時 5月14日(土) 午後6時開演
■場所 グリーンヒルおおの
■入場料 大人1500円
■その他 コンサートの運営のためのサポーターを募集しています。チケット販売、会場設営、当日のスタッフなど

3355または役場福祉課(種市庁舎) ☎65・5915、総合サービス課(大野庁舎) ☎77・2112
◎サービス利用料の徴収猶予 この度の震災により、次のいずれかの理由で介護サービス利用料の支払いが困難となった人は、サービス事業所への申し立てにより、5月分までのサービス利用料の支払いを、5月末日まで猶予してもらうことができます。
①主たる生計維持者が住宅、家財またはその他の財産について著しい損害を受けた
②主たる生計維持者が死亡、行方不明、心身の重大な障がい、長期入院をしたことにより収入が著しく減少した
③本人または主たる生計維持者が業務の休廃止をした
④本人または主たる生計維持者が失業により無収入となった
◎サービス利用料の減免 被災された人の平成23年度以降の一定期間の利用料(猶予を受けた利用料も含む)については、軽減または免除する制度がありますので、保険料の減免申請と併せて申請し

でご協力いただける人はご連絡ください

■問い合わせ先 同事務局 関口ミエ子 ☎77・3535 携帯 ☎090・90306037

震災の無料相談会

久慈ひまわり基金法律事務所(峯田幹大弁護士)は、震災に関する悩みごと相談会を開催します。震災に関する相談はもちろん、震災に関係のない相談でも受け付けます。相談は無料で、予約は不要ですが、混雑する場合があります。

■日時 5月11日(水) 午後2時~5時
■場所 八木南町地区センター
■相談例 ▽公的支援、行政認定制度に関すること(り災証明書とはなんですか。家を流されたけど補償はありますか)など ▽近隣問題に関すること(本震で石垣が傾き余震で倒れて隣家が損傷した。損害賠償を支払わなければならない)など

■問い合わせ先 同事務局 ☎0194・61・1818

お知らせ

自動車税について

本年度の自動車税は納期限を延長します。なお、延長後の納期限及び納税通知書の発送時期は決まり次第お知らせします。

また、この度の震災で使用不能または所在不明となった自動車は、申し立てにより平成23年度からの自動車税を課税しませんので、振興局県税室までご相談ください。
■問い合わせ先 県北広域振興局県税室 ☎53・4986

介護保険の減免

この度の震災により被災された第一号被保険者(65歳以上の)の介護保険料及び利用者負担額について、被保険者または家族の申請により減免・徴収猶予を実施します。また、被保険者証を紛失さ

れた場合は久慈広域連合または役場窓口で再発行ができません。

◎保険料の減免について

■対象者 ①本人または主たる生計維持者が災害により、住宅、家財その他の財産について、おおむね10分の3以上の損害を受けた人で、今後の1年間の所得の見積額が60万円未満の人 ②主たる生計維持者が死亡、心身の重大な障がい、長期入院、事業の休廃止、事業における著しい損失、失業などにより、今後1年間の所得の見積額が、前年の所得金額の50%以下に減少することが見込まれる人で、前年の所得金額が600万円未満の人

■減免の割合 ①30~100% ②50~100%
■対象となる保険料 平成23年度介護保険料
■申請に必要なもの 介護保険料徴収猶予・減免申請書、り災証明書または失業証明書などの損害の程度が分かる書類、印鑑
■申請・問い合わせ先 久慈広域連合介護保険課 ☎61・

または総合サービス課(大野庁舎) ☎77・2112

耐震診断経費を補助

町は、木造家屋の地震対策支援のため、耐震診断経費を次のとおり助成します。改修工事にかかる経費の助成制度もありますので、詳しくは問い合わせください。
■対象住宅 昭和56年5月31日以前に着工の木造住宅
■助成額 1件につき2万7千円(個人負担3千円)

■問い合わせ先 役場建設課(大野庁舎) ☎77・2114 または水産商工課(種市庁舎) ☎65・5916

5月の年金相談

二戸年金事務所は、5月の「年金相談」を開催します。お越しの際は、年金手帳などの基礎年金番号が確認できるものを持参ください。相談は無料ですが、予約が必要です。相談希望日の前月1日から電話などでご予約ください。
■日時 ①5月20日(金) ②6

義援金の受付

町は、災害復旧のための義援金を次のとおり受け付けています。皆様のご支援をお待ちしています。
※義援金は、税法上の控除対象となります
■受付方法 ①持参の場合: 役場窓口までお越しください
②現金書留の場合: 住所、氏名のほか「災害義援金」と明記してお送りください
③郵便局から振込: 専用の振込用紙でお振り込みください
④銀行から振込の場合: 事前に住所・氏名をお知らせのうえお振り込みください

■受付・問い合わせ先 役場福祉課(種市庁舎) ☎0194・65・5915または総合サービス課(大野庁舎) ☎0194・77・2112

町有財産の貸付

町役場総務課(種市庁舎) 管財係 ☎65-5911

■貸付物件
①旧帯島小学校教員住宅2号・1 ▽所在地: 洋野町帯島第10地割25番地2 ▽物件: 木造平屋建て30.03㎡(昭和57年建築) ▽賃貸価格: 月額5500円

①二区駐車場 ▽所在地: 洋野町種市第23地割25番地(岩手銀行種市支店隣) ▽物件: 1区画 ▽賃貸価格: 月額2625円

■申請期間・方法 5月10日(火)~31日(火)までに申請書を提出してください。受付順に審査し、利用者が決まり次第、募集を終了します。詳しくは問い合わせください。

東北地方太平洋沖地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます

百鳥石材店 大野本店 ☎77-2519・久慈店 ☎52-8500

町のシンボルキャラクター「ダイちゃん」
町のシンボルキャラクター「マキちゃん」
平成23年5月の行事・健康カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
5/1		3 憲法記念日 ・おおのキャンパス一人芸交流祭(～5日、同施設 9:00～) ・アグリパークおおさわ春の感謝祭(～5日、同施設 10:00～)	4 みどりの日	5 こどもの日		7
	9	10 ・乳児健診、BCG予防接種(種市保健センター 12:30～)	11 ・人権相談(種市勤労青少年ホーム 10:00～15:00)	12 ・人権相談(役場大野庁舎 10:00～15:00) ・3歳児健診(種市保健センター 12:30～)	13 ・乳児健診、BCG予防接種(大野保健センター 12:30～)	14 ・ウニの森づくり植樹祭(八木地区山林 10:00～) ・チャリティーコンサート「3月の絆」(グリーンヒルおおの 18:00～)
15	16 ・行政相談(役場種市庁舎 10:00～) ・乳がん・子宮がん健診(～20日、詳しくは種市保健センター ☎65-3950 まで)	17 ・行政相談(役場大野庁舎 10:00～) ・9カ月、1歳児健診(種市保健センター 12:30～)		19		21 ・ひろの星空教室④(ひろのまきば天文台 19:00～)
	23 ・胃・大腸・肝胆腎健診(～6月7日、詳しくは種市保健センター ☎65-3950 まで)	24 ・乳がん・子宮がん健診(～25日、詳しくは大野保健センター ☎77-3576 まで)	25		27	28 ・パークゴルフ全国大会「りんどうカップ2011」(～29日、大野パークゴルフ場 13:00～)
29 ・種市中学校落成式(同校 10:30～)	30 ・全血献血(種市地区、詳しくは種市保健センター ☎65-3950 まで)	31 ・固定資産税(第1期)、軽自動車税(全期)納期限日	6/1	2		4
5 ・久慈平岳山開き(久慈平岳山頂広場ほか 9:00～)	6	7 ・乳児健診、BCG予防接種(種市保健センター 13:00～)	8		10	

種市病院の診察日程

■休日当番医 ▷内科医…5月1日(日)、4日(水)、5日(木)、15日(日)▷外科医…5月3日(火)、7日(土)、8日(日)、14日(土)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)

■特別診察 ▷皮膚科診察…5月19日(木)午後1時30分～4時30分▷糖尿病診察…5月27日(金)午後2時～※日程は変更になる場合があります。電話でご確認のうえご来院ください

■院長のなんでも医療相談▷日時…5月12日(木)、26日(木)午後2時～3時▷受付場所…病院窓口

■出前健康講座▷日時…5月26日(木)午後6時～▷場所…宿戸農漁村センター

問 国保種市病院 ☎65-2127

交番・駐在所だより

■運転免許業務の取扱い開始
県北運転免許センターでの免許更新業務を、4月22日より開始していますので、有効期限が8月31日まで延長されている方も、忘れず免許更新手続きをしてください。

■「春の全国交通安全運動&自転車利用の安全利用推進期間」▷実施期間…平成23年5月11日(水)～20日(金)までの10日間▷交通安全運動の重点 ①子どもと高齢者の交通事故防止、②自転車の安全利用の推進、③すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、④飲酒運転の根絶

問 久慈警察署種市交番 ☎65-2133、県北運転免許センター ☎52-0613

戸籍の窓口

平成23年3月届け出分(敬称略)

☆お誕生おめでとう
子どもの名前 父母 地区
斗 米 夢 翔(勇喜・愛)緑ヶ丘町
川原木 美 稀(秀美・妙香)一 区
野 口 凛 (誠・明美)四 区
高 際 大 和(明・香織)有 家

♡ご結婚おめでとう
(澤 田 真 彦(階上町)
(堀 米 裕 子(平内)
(野 田 広 道(城内)
(高 際 麻 希(有家)
(平 好 浩(小子内)
(高 橋 寿 恵(秋田県大曲市)

■ごめい福をお祈りします
角 嶋 ス エ(大沢・99歳)
差久保 若 松(滝沢・83歳)
尾 前 精 一(宿戸・92歳)
小砂子 エ ス(小子内・82歳)
里 村 ト ミ(滝沢・88歳)
神 山 せ ぬ(角浜・89歳)
安 藤 キミエ(玉川・78歳)
竹 高 照 美(横手・57歳)
林 哲 夫(川尻・61歳)
梅 内 信 義(城内・76歳)
藏 ハツノ(八木南町・91歳)
中 野 ミサオ(平内・95歳)
野 口 博(緑ヶ丘町・58歳)
荒 谷 和 男(大町・68歳)
昆 千 ヨ(緑町・85歳)
竹 高 賢 一(横手・77歳)
林 ナ ツ(中野北区・82歳)
中川原 富 治(大野中区・84歳)
澤 口 ハツネ(芦の口・78歳)
坂 川 ミ ネ(向田・94歳)
太内田 清 作(泥濘・82歳)

うなばら荘への奉仕・寄贈

【奉仕】町社協はまなす会、りんどう会
【寄贈】日澤綾子さん(二区)…生け花 工藤清美さん(群馬県)…タオルなど 久慈道ヒサさん(中野南区)…衣類、鹿糠婦人会…タオル、川尻婦人会…タオル

納税期限

固定資産税 第1期
軽自動車税 全 期
納期限：5月31日(火)
問 役場税務課(種市庁舎) ☎65-5913

「広報たねいち縮刷版」販売開始

■収録内容…昭和39年1月号～平成17年12月号までと特別号など
■価格…上・下巻とも、1冊2,000円
■購入方法…下記問い合わせ先まで直接お越しください
■購入・問い合わせ先…役場企画課(種市庁舎)☎65-5912、ファクス65-4334



まちの動き・データ(平成23年3月分)

【人口】
(3月末現在、()は先月比)
総人口 19,178人(－93人)
男 9,298人(－54人)
女 9,880人(－39人)
世帯数 6,840世帯(－2世帯)

【火災・救急】
()内は1月からの累計)
火 災 1件(1件)
救 急 41件(121件)

【交通】
()内は1月からの累計)
死 者 0人(0人)
人身事故 2件(8件)
負 傷 者 4人(12人)
物損事故 10件(41件)
飲酒運転 0件(3件)

◎飲酒運転検挙状況
震災の影響により未集計のため、今月の掲載をお休みさせていただきます。

※このコーナーへの掲載を希望しない人は、届け出の際にお申し出ください。
【おわびと訂正】広報ひろの4月号13頁に掲載した町木炭産業友の会の救援物資「木炭10kg」は、正しくは「木炭10kg入れ100袋」でした。おわびして訂正いたします。

（広告スペース）

謹んで災害のお見舞いを申し上げます。

フリーマーケット
おおのキャンパス一芸祭も同時開催!!
■日時：5月3日(火)～5日(木) 午前10時～
■場所：おおのキャンパス中庭横
※出店料は、東日本大震災の被災地を支援するための義援金となります
■問い合わせ先：OHNO CAMPUS ☎77-2266

第10回 竹トンボ大会
5月5日(木) 13:00～
◎産業デザインセンター中庭
●参加費：無料
●対象者：竹とんぼ持参なら誰でもOK!!(定員50人)
●競技内容：距離競技
●問い合わせ先：おおのキャンパス木工房 ☎77-3202

新聞が、教科書になる時代。

購読のお申し込みは…
（有）瀧屋 ☎77-2546・fax77-4188

「新聞の活用」を盛り込んだ新しい学習指導要領が小学校で実施されました。2012年度からは中学校でも実施されます。お子さんに新聞を読む習慣と環境を作ってあげませんか?
—— 取り扱い新聞名 ——
岩手日報、デーリー東北、朝日、読売、毎日、日経、河北、小・中学生新聞、各種スポーツ紙ほか

四季

shiki-sai

彩

hirono

【47】



鯉のぼる久慈平岳

■撮影日 平成23年4月17日
■撮影地 アグリパークおおさわ

春らしい気温になつてきた4月中旬、アグリパークおおさわでは鯉のぼりが空を元気に舞っていました。

鯉のぼりは、中国の登竜門伝説に由来して江戸時代から始まった日本の風習で、端午の節句である旧暦の5月5日まで、紙や布で作った吹き流しに鯉の絵柄を描いて庭先へあげたのがその始まりとのこと。伝説にあやかり、子どもが人生の困難を乗り越えてほしいという願いが込められているそうです。

心地よい風が吹き抜ける中、広がる青空の先に望む久慈平岳を目指し、鯉のぼりが勢いよく泳いでいるかのように見えました。

表紙のお話

震災の影響による数日間の停電に負けずに生き抜き、有家川へと旅立った約300匹のサケの稚魚たち。震災に打ち勝ったそのたくましさで世界中を回遊し、数年後にはきっとまた有家川に帰ってくることでしょ。



編集後記

▽ことし4月から佐々木さんの後任で広報担当になりました糸坪です。税務課でお世話になった皆さま、ありがとうございます。広報を楽しみにしている皆さま、そして滝口くん、よろしくお願います。(糸坪)

▽糸坪さん、こちらこそよろしくお願います。こうして5月号の編集後記を書いているということは仕事が一息ついたということ。自粛ムードを打破するべく、まずは歓迎会として飲みに行きましょう。(滝口)